



なぜしぶのひなこ渋野日向子はプロ一年目で ここまで強くなれたのか

プロゴルフコーチ
青木翔あおきしょう

二〇一八（平成30）年にプロテスト合格を果たすと、翌年に全英女子オープンという世界のメジャー大会で優勝、国内ツアーでも四勝し賞金ラッキンク二位に。「シブコ旋風」を巻き起こした彼女の強さの秘密を聞いた。

取材・文／中山秀樹 撮影／丸川博司

とにかく一年間、
ぶつちぎりで練習しました

渋野日向子の強さの源泉は練習にあります。練習は特別なものではありません。基礎的なことばかり。いわば基本の反復練習です。

基本技術はゴルフ選手の土台です。土台はどれだけ頑丈がたじょうにしてもいい。それは誰もが理解しているはずですが、では誰もが基本を繰り返し丁寧に練習しているかと言えは、お茶を濁にごす程度で片づけがちです。

ところが渋野は、基本練習を徹底してやります。時間にして七〜八時間。プロゴルフファアはゴルフが仕事なので、会社員が会社で働くのと同じ時間を練習に振り向けるのは当然でしょう。

ある試合で予選落ちした日も、渋野は土砂降りの雨の中、かっぱをびしょぬれにしながらずっとパットの練習をしていました。けれど、それは予選落ちしたから特別よく練習したということではありません。練習するのは当たり前のこと、それが



提供 朝日新聞社